

平成29年ゴールデンウィークにおける主な観光施設等の利用状況について

平成29年ゴールデンウィークに県内の主な観光施設・イベントを訪れた観光客の状況について、次のとおりまとめました。

調査目的： ゴールデンウィーク期間中の観光客の傾向を調査し、今後の観光振興施策や観光事業関係者の事業展開の参考資料とする。

調査地点： 県内主要観光施設、市町村イベント等 67地点

集計期間： 平成29年4月29日(土)～5月7日(日)の9日間

観光客数： 延べ約145万人(1日当たり16万1千人)

1日当たり：対前年比15,498人増、10.7%増

前年：145万人(10日間、1日当たり14万5千人)

1 概 況

今年のゴールデンウィークは、晴れて気温が上昇する日が多く、期間全体で天候に恵まれ、多彩なイベントやお祭りが開催されるなど、県内外から多くの観光客で賑わい、県内の主な観光施設・イベント(67地点)を訪れた1日当たりの観光客数は前年比10.7%増加した。

日並びは4月29日の祝日(昭和の日)が土曜日だったため通常の週末と変わらなかったが、5月3日～7日が5連休となったため、特に3日～5日に多くの観光客が訪れた。

前年より1日少なかったが、天候に恵まれたことやイベントなどが好評であったため、小瀬スポーツ公園や笛吹川フルーツ公園、北口本宮富士浅間神社など、25の調査地点で前年を上回る人出があった。

また、3月に寒い日が多かったことなどで、開花が例年より遅れていた花々がゴールデンウィークに見頃を迎え、富士山とシバザクラの絶景や、フジザクラとミツバツツジの競演など、咲き誇る花々が多くの観光客を楽しませた。

1日当たりの入込状況の圏域別では、最も大きく伸びたのは峡東圏域の24.6%増であり、次に峡中圏域の20.4%増となった。

2 各圏域別の状況

別添資料参照

【峡 中】

- ・ 峡中圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比20.4%増となった。
- ・ 高校野球やJリーグが開催された「山梨県小瀬スポーツ公園」では、約71%増となり、多くの観光客が訪れた。
- ・ 新たにユキヒョウが仲間入りしたことや、ワラビーやビーバーの赤ちゃんが人気を集めた「甲府市立動物園」では、約14%増となった。

【峡 東】

- ・ 峡東圏域所在の対象施設等に係る観光客数は1日当たり前年比24.6%増となった。
- ・ 天候にも恵まれ「勝沼ぶどうの丘」では約45%増、イベントが好調であった「笛吹川フルーツ公園」では約26%増となった。
- ・ 企画展「ブータン」が好評であった「県立博物館」では約79%増となった。

【峡 南】

- ・ 峡南圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比2.2%減となった。
- ・ お祭りの開催日数を変更した屋外施設においては、観光客の減少がみられた。
- ・ 身延山周辺の自然に関する施設では、外国人観光客の割合が前年より更に増加したとの声が聞かれた。
- ・ 天候不順で山菜の発育遅れが心配された「南アルプス早川山菜祭り」は、天候にも恵まれ、前年並みを確保した。

【峡 北】

- ・ 峡北圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比8.1%増となった。
- ・ イベントが好調であった「山梨県フラワーセンター」では約19%、野菜や山菜の問合せが多かったとの声が聞かれた「道の駅はくしゅう」では約22%増となった。

【富士・東部】

- ・ 富士・東部圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比5.3%増となった。
- ・ 花の見頃とゴールデンウィーク期間
- ・ が重なった「富士桜ミツバツツジ祭り」では約30%増、例祭で多くの観光客が訪れた「北口本宮富士浅間神社」では約28%増となった。

【問い合わせ先】観光企画課 今泉・齊藤

直通 055-223-1556 (内線4102、4112)